

之ヲ廢止致度是亦費用節減ノ一端トス
 右ノ理由ニ依リ本件實行相成候時ハ官報局費ニ於
 テ金七百八拾八圓四拾錢ノ増加ヲ要スルモ官報費ニ於
 テ金千百五拾九圓ヲ減却シ差引金三百七拾圓六拾錢
 ノ節減ヲ見尚此結果トシテ節省シ得ヘキ費用不少
 儀ニ付御裁可相成度尤前件施行候共其人員ハ矢
 張印刷場ノ事ヲ取扱儀ニ付従前官報費ヲ以テ支
 出候分ハ同費ヲ以テ支出候様致度會計局合議此段
 仰高裁候也

十月二十五日

内大臣公爵三條實美内閣總理大臣ニ兼任シ内閣總理
 大臣伯爵黑田清隆樞密顧問官ニ任セラル

宣旨

兼任内閣總理大臣 内大臣從一位大勲位公爵三條實美
 任樞密顧問官 陸軍中將從二位勲一等伯爵黑田清隆

二十二年十月二十五日

依願見内閣總理大臣 内閣總理大臣陸軍中將從二位勲一等伯爵 黑田清隆

校正 田邊 廣高 平